

非稼働病床の再稼働について

1 概要

施設名	榛原総合病院 (牧之原市細江 2887 番地 1)
開設年月日	昭和 29 年 9 月 20 日
病床数	回復期リハビリテーション病棟 病床 35 床→50 床 (15 床の再稼働)
変更時期	令和 2 年 8 月 1 日予定

2 非稼働病床の再稼働の要望

国の施策である「地域医療構想」、「新公立病院改革プラン」等を踏まえ、未稼働病床の再開を 3 期に区分し計画している。今回は、第 1 期として回復期病床(回復期リハビリテーション病床)として 15 床の再開を要望する。

非稼働病床の再稼働について

記載年月日：令和2年6月22日

記載者：事務長 関 正之

1 病院概要

病院名	榛原総合病院
所在地	牧之原市細江 2887 番地 1
管理者名	院長 森田 信敏
再稼働予定時期	令和2年8月1日

2 病床数、病床稼働率

(1) 許可病床数

	一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染症病床	合計
変更前	355床	42床	53床	0床	0床	450床
変更後	355床	42床	53床	0床	0床	450床

(2) 機能別病床数

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休床等	合計	病床稼働率
変更前	0床	180床	35床	42床	193床	450床	57.1%
変更後	0床	180床	50床	42床	178床	450床	60.4%

3 医療従事者の確保に係る方針

(1) 非稼働病床の再稼働の要望

以前より、国の施策である「地域医療構想」、「新公立病院改革プラン」等を踏まえ、未稼働病床の再開を3期に区分し計画しました。今回はその第1期として回復期病床（回復期リハビリテーション病床）として15床の再開を要望します。

(2) 医療従事者の現状と確保にかかる方針

前事業年度において、第1期及び第2期（急性期10床増床）の再開計画を考慮した採用活動を行い、令和2年4月1日時点の人員について

- ① 医師4名(整形、回復リハ専任、産婦人科、内科)
- ② 看護師19名
- ③ セラピスト6名(理学療法士3、作業療法士2、言語聴覚士1)
- ④ 医療相談員2名

の採用を行い、医療従事者の確保を行いました。今後、第3期（地域包括ケア病棟40床）について調整会議にて了承後、その人員確保のための採用を速やかに完了したいと考えています。

4 病床の再稼働の必要性について

(1) 構想区域の現状

当院の回復期リハ病床 35 床は、在院延べ 11,505 名、90.01%の稼働率（平成 31 年 1 月～令和元年 12 月の 1 年間）で、これ以上の収容は、現在の使用許可病床では困難な状況です。また、2018 年の回復期の病床整備状況は、2025 病床必要量の約 50%にすぎません。

志太榛原	全体	高度	急性	回復	慢性
2018 許可	3,463	251	1,789	567	856
2017 許可	3,321	251	1,802	431	837
2016 許可	3,425	251	1,804	399	971
2025 病床必要量	3,246	321	1,133	1,054	738
2018 稼働	3,381	251	1,732	546	852
2017 稼働	3,239	251	1,747	431	810
2016 稼働	3,318	251	1,733	396	938
医療計画・基準	2,892				
医療計画・既存	3,524				

(2) 構想区域の課題

・地域医療構想では、当医療圏では今後必要な病床数と実際の稼働病床数を比較すると回復期の病床が少ないことから、「地域包括ケア病床や回復期リハビリ病床を区域全体で活用するという視点で、医療連携体制を整えていく必要がある」という方向性が示されています。現状までの議論で、必要病床について圏域でしっかりと検討をする必要があるかと思われます。また、病床区分の確定は、病棟単位で主な区分を報告している状況ですので、病床区分をもう少し厳密にした上で必要数を議論する必要があるのではないかと考えられます。

(3) 医療機関の現状

【病院全体の病床稼働率】

- ・H31.01～R02.12 の 1 年間 急性期 84.8%、回復期 90.0%、慢性期 98.3%、全体 87.8%
- ・救急、急性期、回復期、慢性期、在宅（訪問看護ステーション化）、介護老人保健施設、健診センターの機能が揃い、第 3 期で予定している地域包括ケア病床を開棟できれば、地域住民への医療・介護サービスがシームレスに提供できます。

【回復期リハビリ病棟】

<疾患別>運動器 61.3%、脳血管疾患 31.7%、廃用症候群 6.7%、呼吸器 0.3%

※脳血管疾患患者の大半を志太榛原の各病院から紹介をいただいております。5 月の利用率は 93%、6 月は 92%と病棟運用もタイトで厳しくなっております。

<在宅復帰率>94%

<重症者の割合>47%

<その他>休日リハビリテーション実施済、入院料 1 への類上げ予定（7 月）

(4)医療機関の今後の方針等

榛南地域は大井川、駿河湾、牧之原台地に挟まれた孤立地帯にあり、診療科によっては当地域で独立して整備を進めていく必要があります。高度急性期区分、周産期医療等は、圏域連携で対応、その他の一次救急に属する一部、二次救急までの対応の確立、不足している機能区分の病床確保を目指し整備を進める予定です。

回復期リハビリ病棟におきましては、全体の3割強を占める脳血管疾患患者は、その大半が志太榛原の各病院で急性期治療を終えて当院に紹介いただいた患者です。榛南地域住民のほか、その周辺にお住いの方も当院回復期リハビリ病棟へという流れが構築されてきました。今後はさらに志太榛原圏域全体で回復期の連携を進めていく必要があると思います。

最後に、もともと病床利用率が高い当院では、特に夏期及び冬期に入院患者が増加し病床が満床になることもしばしばあります。そのような状況から、回復リハビリ病棟15床増床（今回の書面審査でお願いします）、急性期病床10床増床（2期）、地域包括ケア病床40床開棟（3期）を順次再開整備する計画でおります。新型コロナウイルスではお互いの強みを生かした形で初期の役割分担ができたかと思いますが、どうか今後とも志太榛原圏域の医療を守るべくさらなる連携をお願いするとともに、今回の回復期リハビリ15床の増床につきましてご承認いただきますようよろしくお願いいたします。